

## レーダーチャート

Presented by: **Thomas Schlumberger**



### 概要

SVGコンポーネントを使用し、インタラクティブなレーダーチャートを描画する例題です。データ (JSON) とプレゼンテーション (SVG) を分離することや、オブジェクト型変数、新しいコーディングパラダイム (ワーカーやフォームの呼び出し) も習得することができます。

### 操作

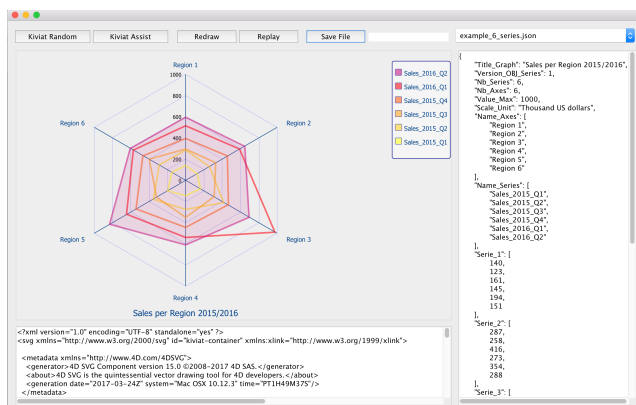
チャートの出力を確認するためには「かんたん」ボタンをクリックします。1~6組のデータ、3~11本の軸が作られます。「アシスト」ボタンをクリックすると、項目の数を指定することができます。デフォルトは2組のデータと5本の軸です。値はランダムに発生します。

### ポイント

チャートは、SVGコンポーネントだけで作画しています。直接、グラフを作成することもできますが、敢えてオブジェクト型変数でJSON形式のデータを用意し、次いでデータをSVGで視覚化するというステップを踏んでいます。JSONはテキストなので、直接、書き換えることができます。また、SVGもテキストなので、やはり変更が容易です。いずれも標準のフォーマットであり、4D以外のツールで扱うことができる点も見逃せないポイントです。

### テクニック

凡例をクリックすると、特定のレーダーが非表示になります。グラフ全体を再描画するのではなく、SVG SET ATTRIBUTEでopacityを操作することにより、達成しています。特定のレーダーを最前面に移動したり、色や透明度を変更して強調することもできます。



データおよびSVGのソースコードは、画面上で直接、書き換えることができます。変更を適用するには「リドロー」ボタンをクリックします。ゆっくり描画をさせるのは「リプレー」ボタンをクリックします。フォーム/オブジェクトメソッドやそのサブルーチンではなく、ワーカーに処理を委譲し、フォームの呼び出しでグラフをリフレッシュしている点に注目してください。